

4月8日（木）

博物館に、非接触型の検温器を設置しました。モニターに顔が映り、体温を表示するやつです。

まず組み立てるのに1時間ほどかかりました。一人でもできないことはないと思いますが、腕が3～4本いる作業です。だから、二人でやれば、もっと少ない時間でできたと思います。とりあえず組み立てが終わり、電源を入れました。うんともすんともなりません。分解すると、中で線が外れていました。説明書を読むと、外れやすいので結束バンドで止めるように書いていました。結束バンドがないので、テープでぐるぐる巻きにしました。これで外れることはないはず。またまた組み立てに時間がかかります。どうにか組み立てて電源 ON！ 画面が映りました。顔を近づけると男前が映っています。36.7℃の表示が出ました。近くにいた人が顔を近づけます。36.7℃でした。3人目が行うと、これもまた36.7℃。こりゃ、壊れてるわ、と思って説明書を読むと、5分後でないとは正常に測れないと書いてありました。しばらくして計測すると36.3℃でした。なんとも疲れた2時間でした。ふわあ～。